

ふちゅう 市議会だより

<http://www.city.fuchu.tokyo.jp/gikai>

No. 268
2014

平成26年2月4日発行
発行：府中市議会
〒183-8703 府中市宮西町2-24
電話：042-335-4506
FAX：042-364-5415



ともに未来へ
笑顔あふれる
わがまち府中

平成25年第4回定例会 府中市基金条例の一部を改正する条例など 14議案を審議

平成25年第4回市議会定例会は、12月2日から17日までの16日間の会期で開催されました。
市長提出議案は、府中市基金条例の一部を改正する条例など10件を審議した結果、可決9件、同意1件となりました。委員会提出議案は、2件を審議した結果、すべて可決、議員提出議案は、2件を審議した結果、可決1件、否決1件となりました。また、陳情5件が審議されました。

今定例会で市長から、「府中市基金条例の一部を改正する条例」についての議案が提出されました。

この議案は、職員退職手当基金の廃止及び平和島モーターボート競走場駐車施設整備基金の新設に伴い、それぞれ設置及び目的、現金の運用に関する規定を削除、追加するものです。また、同条例における現金運用の特例について、「地方債の繰り上げ償還に充てるため、確実な繰り戻しの方法、期間及び利率を定めて公共施設管理基金に属する現金を一般会計予算の歳入に繰り入れることができる」としていたが、今後、実施の予定が見込まれないことから、この運用を廃止し、規定を削除するものです。

なお、施行日について、公共施設管理基金に属する現金の取扱いの見直しについては公布の日から、新設基金については平成26年3月31日から、廃止基金については26年4月1日からとなります。

総務委員会で審査され、質疑に対し、「駐車場基金新設の目的は、立体駐車場の老朽化に対応するもので、大規模改修等の際に一般会計に負担をかけないよう計画的に積立てを行うものである」「職員退職手当基金の廃止については、団

塊の世代の大量退職に備えて基金を積み立て活用してきたが、今後、大量の定年退職の予定がなく、一般財源等での対応が可能であるため廃止するものである」と等の説明がありました。

委員から、「大きなレースの開催では駐車場の稼働率は100%になるとのことであり、駐車場を確保して来場者を増やす方向性は必要と考えるため、本案に賛成する」「市全体の今後の基金計画に關して思うところはありますが、今回の条例改正の中心については賛成する」「等の意見がありました。

審査の結果、本案については、全員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決定し、最終日の本会議において、総務委員長から審査報告があり、審議の結果、全会一致で可決されました。

国会などへ
意見書

◎建設従事者のアスベスト被害者の早期救済・解決を求める意見書
アスベストを大量に使用したことによる被害は、多くの労働者・国民に広がっている。建物の改修や解体に伴って被害が広がる現在進行形の公害で、東日本大震災で発生した大量の瓦れき処理についても被害の拡大が心配されている。

特に建設業は多くの現場に従事するため、労災認定に困難が伴い、多くの製造業で支給されている企業独自の上乗せ補償もない。また、国は石綿による健康被害の救済に関する法律を成立させたが、極めて不十分で、成立後一貫して抜本改正が求められている。よって、本市議会は、政府に対し、対策を直ちにとることによるアスベスト問題の早期の解決を強く要望する。

◎容器包装リサイクル法を改正し、発生抑制と再使用を促進するための法律の制定を求める意見書
容器包装リサイクル法は、分別収集・選別保管を税負担としているため、リサイクル優先に偏っている。根本的な問題は、リサイクルに必要な総費用のうち約8割が製品価格に内部化されていないことにある。容器包装を選択する事業者に発生抑制等に取り組みうとするインセンティブが働かず、ごみ減量の努力をしている市民には負担の在り方について不公平感が高まっている。

よって、本市議会は、国会及び政府に対し、容器包装の拡大生産者責任を強化し、リサイクルの社会的コストを低減するため、分別収集・選別保管の費用につ

いて製品価格への内部化を進めることなど2項目を強く要望する。

◎公共工事の入札不調を解消する環境整備を求める意見書
公共工事の入札が成立しない「入札不調」の増加は、復興事業や景気回復に伴う建設工事の増加による資材の高騰、工事を担う人材不足が全国的に広がっている影響と見られている。

震災復興事業は加速させなければならず、また、首都直下地震、南海トラフ巨大地震に備え、老朽化が進む国内全域の公共インフラの防災・減災対策も待たないであり、必要な公共工事の円滑な入札に対する取組は急務と言える。

よって、本市議会は、政府に対し、入札不調を解消するため、地元貢献や技術力に対する加算評価など多様な入札契約方式を導入することなど2項目の環境整備を早急に進めるよう強く求める。

人事議案

定例会最終日の本会議に市長から人権擁護委員候補者の推薦の同意を求める議案が提出され、次の方が同意されました。

■人権擁護委員候補者

和中 信男 氏（71歳）

▶2月8日(土)から郷土の森梅まつり(郷土の森博物館)が開催されます

